

避難

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人一人違います。
それぞれが自ら判断し、「自分の命は自分で守る」という意識を持って行動しましょう。

避難場所の確認

ハザードマップを確認しましょう。

- 自宅周辺に浸水想定区域や土砂災害警戒区域がある人**

周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。

- 「指定避難所」以外への避難も検討を**

学校・公民館などの指定避難所だけでなく、安全な場所に住んでいる親戚や知人の家などを避難先として検討しましょう。

- 自宅周辺に浸水想定区域や土砂災害警戒区域がない人**

自宅での安全確保の備えや、周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。



避難のタイミング

警戒レベル	避難情報など	避難行動など	<防災気象情報> 【警戒レベル相当情報(例)】
警戒レベル 5	すでに 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとります。	災害発生情報 *1 ※1 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 〔岡垣町が発令〕	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 など
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) *2 ※2 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令 〔岡垣町が発令〕	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
警戒レベル 3 高齢者などは避難	避難に時間を要する人(高齢者や障害のある人、乳幼児など)とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 〔岡垣町が発令〕	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 など
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどで自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 など 〔気象庁が発表〕	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕	

(国土交通省、気象庁、福岡県が発表)

各種情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】では、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

避難行動

「指定避難所」以外への避難先を検討しましょう。

学校や公民館などの指定避難所だけでなく、親戚や知人の家などを避難先として検討しましょう。

● 立退き避難(水平避難)

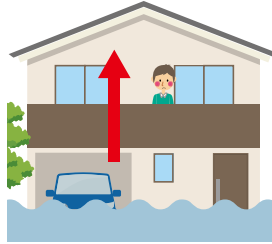
避難所など安全な場所への避難



※夜間に大雨が予想される時は明いうちに避難することが大切です。

● 屋内安全確保(垂直避難)

自宅内の高い場所へ避難



がけや山が隣接しているときは離れた部屋へ避難



※屋外が50cm以上浸水している場合や夜間の避難は危険です。自宅の2階など高いところに避難しましょう。

避難のポイント

● 速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には消防団員などの指示に従いましょう。



● 非常用持ち出し品は最小限に

非常用持ち出し品はリュックサックにまとめ、身軽に行動できるよう持ち出し品は最小限にしましょう。

● 家族の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意して避難するときは持っていきましょう。

● 避難をする前に電気のブレーカーを落としガスの元栓を閉めましょう

避難している間の火事を防止するため確認しましょう。

● 連絡メモを残そう

外出中の家族がいるときは、「〇〇に避難している」などの連絡メモを残しておきましょう。



● 道が冠水しているときは足元に注意しましょう

できるだけ高いところにある道を選び、水路などに気を付けましょう。



● 車での避難は控えて

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

● 一人暮らしの高齢者などには気配りを

近所の一人暮らしの高齢者や病気の方がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。

● 避難所に避難するときは

水や食料、常備薬などのほか、感染症対策に体温計やアルコール消毒液などを持っていきましょう。また、避難所に行く前に検温とマスクの着用を徹底しましょう。

